



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU
NAGOYA 460 JAPAN



国際会長標語
アジア会長標語
西日本区理事標語
中部部長標語
クラブ会長標語

Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」
Friendship & Peace Forever 「友情と平和を永遠に」
「Positive Commitment to Practical Action 「さあ！実行のとき」
「今こそ地域へ伸びようYワイズ」
「地域とともに」広げようワイズの輪

1999年 2月号

<今月の聖句>

福音には神の義が啓示されていますが、それは、初めから終わりまで信仰を通して実現されるのです。「正しいものは信仰によって生きる」と書かいてあるとおりです。

ローマの信仰への手紙 第1章 17節

第一例会（総会）は必ず出席ください、欠席者は電脳 聴生に必ず連絡すること

1999年2月例会のご案内

◎第一例会 総会

とき：2月9日（火）19:00

ところ：名古屋YMCA

◎第二例会

とき：2月23日（火）19時より予定

ところ：名古屋YMCA

フィリピンワーク団結式

とき：2月24日（水）午後6時30分～

◎フィリピンワーク報告会

とき：4月中旬（予定）

◎山田牧場スキー

とき：3月27日（土）・28日（日）

◎サンドルクラブ訪問

とき：4月9日（金）～11日（日）（予定）

初春 新年第一例会 報告

1999年の新春、グランパス初の顔合わせは久々の“オークション”から始まりました。声がかからない品物には周りの“声”によって半強制的に名乗りをあげざるをえない状況が生まれたりと、オークション本来の言い値でほしい物を手に入れる醍醐味とは趣が違うところがグランパス流オークションです。傾向としては、アルコール類、食品に競り合いが見られ、高値がつきますが、タオル類は、数点が一まとめでせりにかけられ、人気はありません。それでも終わってみると、オークション出席者が10名と言う小人数にもかかわらず売上金は8550円と立派なファンド資金源となりました。（他の先輩クラブの足元にもおよびませんが） ほしい物が安く手に入るか、押し付けられるかはその時の運試し。たとえ運が悪くても笑って”お買い上げー“、オークションはグランパスらしさが大いに出て、楽しい催しだと思います。

南里 道子

爺ヶ岳ファミリースキー参加報告

毎年恒例のファミリースキーが今年も爺ヶ岳にて1月8~10日に行われました。直前までスキーができるかどうか危ぶまれましたが、8日から寒波がやってきて、中央道もスキー場も雪…雪…雪…。8日集発組・9日出発組ともにスキー場に行くのに苦労しましたが、参加者30名（キャンセル5名）の盛会となりました。

今回はメンバー、コメットのスキー講習にと、YMCAのリーダー2名（大福リーダー・はまぐりリーダー）にも参加してもらいました。

8日集発組（8日夜宿に到着組）は苦労して荷物の整理もそこに子どもを寝かせ例年通り、深夜（2時くらい？）に及ぶ打ち合わせを行い、お酒の飲めないリーダーにも参加してもらい、和を深め翌朝に備えました（？）。

9日早朝、荒川兄御一行の到着。素晴らしいゲレンデコンディションの中朝食もそこそこにスキー場へ行くメンバー、講習を受けるコメット、朝からビールをあおって朝寝のメンバー、そこへ（チェーンをつけたりはずしたり苦労し）ドロだらけで阿部一族が到着しました。坂野兄より「雪で行けないかもしれない。」との電話。私もドタバタしながらゲレンデへ。しかし、ゲレンデには我が家はどこにもいません。しかたなく講習中のリーダーの近くをうろうろ。昼近くに奥さんと子どもをおいて馬場・秋浜・加藤元登場。

午後のゲレンデで、今朝吉田一誠さんを見送り、電車とタクシーでかけつけたゑま子さんに遭遇。夕方、吉田（正）兄がやって来てなんとかかんとか全員集合。夕食後、ナイタースキー、温泉ツア。雪が降り続いているので予定のスノーファイアーは中止。子ども達を寝かせた後、2日の打ち合わせ。打ち合わせにて、3月27・28日山田牧場スキーツアー、2000年1月8・9日爺ヶ岳スキーツアーを決定しました。

10日雪の降り続く中、スキー一筋のメンバー、酒を飲んで温泉へ行く高田・坂口兄。宿でのんびりするメンバー。なんとかかんとか今年も無事楽しくスキーツアーが終わりました。私たちに付き合ってくれた橋本（大福）リーダー・井上（はまぐり）リーダーとロッジの畠山夫妻、直前まで変更続きで苦労をかけた吉田（正）兄に感謝。

来年また爺ヶ岳で会いましょう。

坂倉 洋

